
2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

2019年2月1日
株式会社セブン銀行

目次

決算ダイジェスト

2頁

損益状況 <連結>

3頁

損益状況 <セブン銀行 単体>

4頁

ATMプラットフォーム事業 計数

5頁

決済口座事業 計数

6頁

国内事業 Topics

7頁

海外事業 <FCTI>

8頁

海外事業 Topics

9頁

株主還元

10頁

※決算発表資料は、当社Webサイトからもご覧いただくことができます。
(<https://www.sevenbank.co.jp/ir/library/presentation/>)

2018年度第3四半期決算

連結

経常収益 1,114億円 (前年同期比+167億円)
経常利益 321億円 (" +21億円)

単体

経常収益 910億円 (前年同期比+28億円)
経常利益 342億円 (" +16億円)

経常収益・経常利益共に第3四半期過去最高

親会社株主に帰属する

四半期純利益 75億円 (前年同期比△130億円)

四半期純利益 85億円 (前年同期比△139億円)

2018年度計画達成を目指す/中期経営計画を着実に推進

配当

【増配】

期末配当予想を従来の5.00円から6.00円（年間11.00円）に増配

■ 当第3四半期は、前年同期比**増収増益**

(単位：億円)

	17年度 第3四半期	18年度 第3四半期	前年差異	18年度 修正計画 (2018年9月7日)
経常収益	947	1,114	167	1,472
経常費用	646	792	146	1,073
経常利益	300	321	21	399
純利益	205	75	△130	128

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル：2017年度第3四半期 = 111.89円、2018年度第3四半期 = 109.60円、2018年度計画 = 110.00円

注4) 純利益は親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

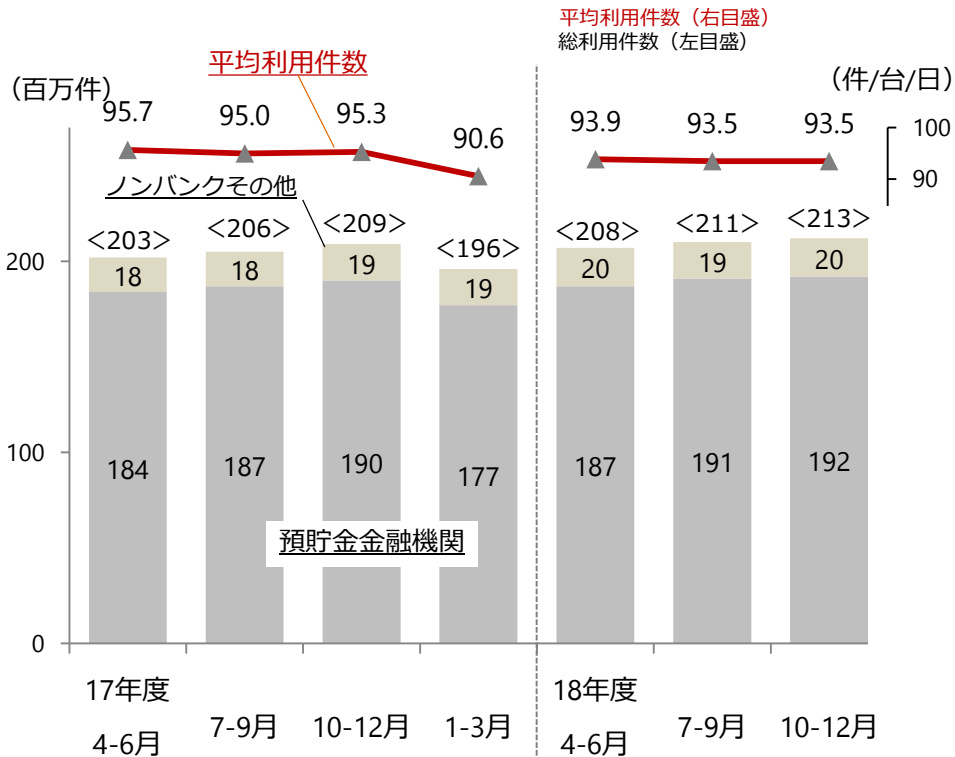
■ 当第3四半期は、前年同期比**増収増益**

(単位：億円)

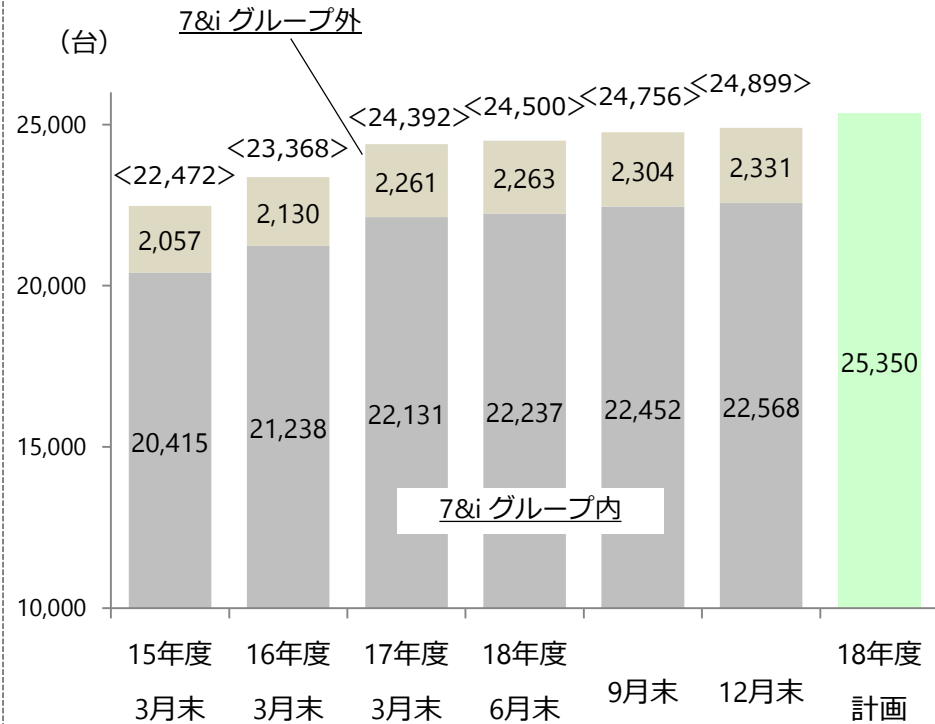
	17年度 第3四半期	18年度 第3四半期	前年差異	18年度 修正計画 (2018年9月7日)
経常収益	882	910	28	1,196
うちATM受入手数料	803	821	18	1,083
経常費用	556	568	12	771
経常利益	326	342	16	425
特別損失	0	218	218	219
法人税等合計	100	37	△63	64
純利益	224	85	△139	140
EBITDA	444	463	19	586
期末ATM設置台数 (台)	24,032	24,899	867	25,350
平均利用件数 (件/台/日)	95.3	93.6	△1.7	92.3
総利用件数 (百万件)	618	632	14	830

注) EBITDA = 経常利益 + 減価償却費

ATM利用件数の推移

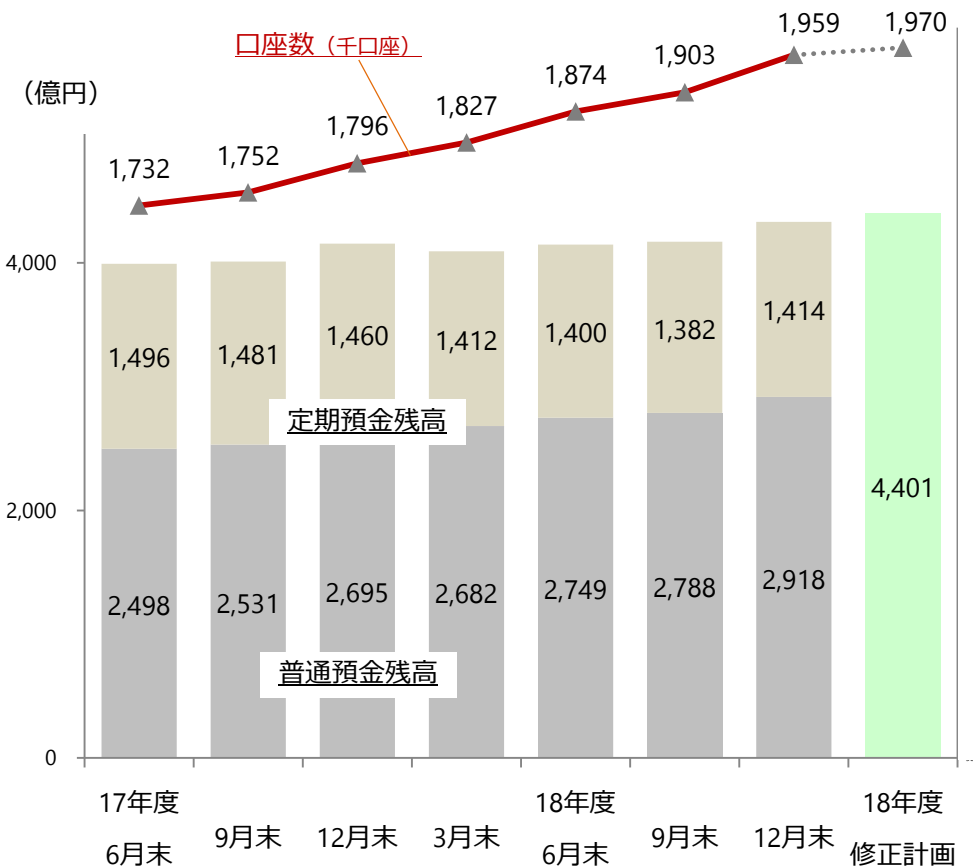


ATM台数の推移



注) ATM利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

口座数と預金残高（個人）



個人向けローン

	17年 12月末	18年 12月末	18年度 修正計画
期末残高 (億円)	222	225	227

海外送金サービス

	17年 4月～12月	18年 4月～12月	18年度 修正計画
取引件数 (千件)	818	869	1,150

デビットサービス

	17年 4月～12月	18年 4月～12月	18年度 修正計画
取引件数 (千件)	4,582	7,605	10,317

中期経営計画の各施策を確実に積み上げ

■電子マネーチャージ（10/15よりサービス拡充）

- ・ 11/1～15 TVCM、エリア広告
- ・ 11/26～12/16 キャンペーン（交通系）

チャージ件数の堅調な増加

+



ATM利用（附随取引）の増加
チャージ前後の出金取引等

■南都銀行の店外ATMを広域受託

- ・ 地方銀行初！ 2019年より店外ATM入替へ

ニーズの顕在化



ATM設置台数の増加
金融機関からの受託機会の拡大

■TORANOTEC株式会社への出資

- ・ おつり投資アプリ「トラノコ」の開発・運営会社



「7&iならではの、お客さまに寄り添う金融商品・サービスの提供」という概念に合致

約20億円を出資
持分法適用関連会社化



金融版「セブンプレミアム」
商品・サービスの開発推進

■ 当第3四半期は、前年同期比**増収増益**

決算概要



(単位：百万ドル)

	17年度 第3四半期 (1月～9月)	18年度 第3四半期 (1月～9月)	18年度 修正計画 (2018年9月7日)
経常収益	56.7	183.7	244.3
経常費用	70.1	194.2	258.4
経常利益	△13.3	△10.5	△14.0
純利益	△8.5	△100.5	△104.0
EBITDA	△8.3	3.6	2.0

ATM主要計数

	17年度 第3四半期 (1月～9月)	18年度 第3四半期 (1月～9月)
期末設置台数 (台)	7,789	13,525
うちSEI (台)	2,162	8,202
うちSEI外 (台) ～自社保有	4,652	4,491
うちSEI外 (台) ～設置先保有	975	832
期間総利用件数 (千件)	27,248	131,180

注) 監査法人による監査中であり、見込値になります

注 1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む

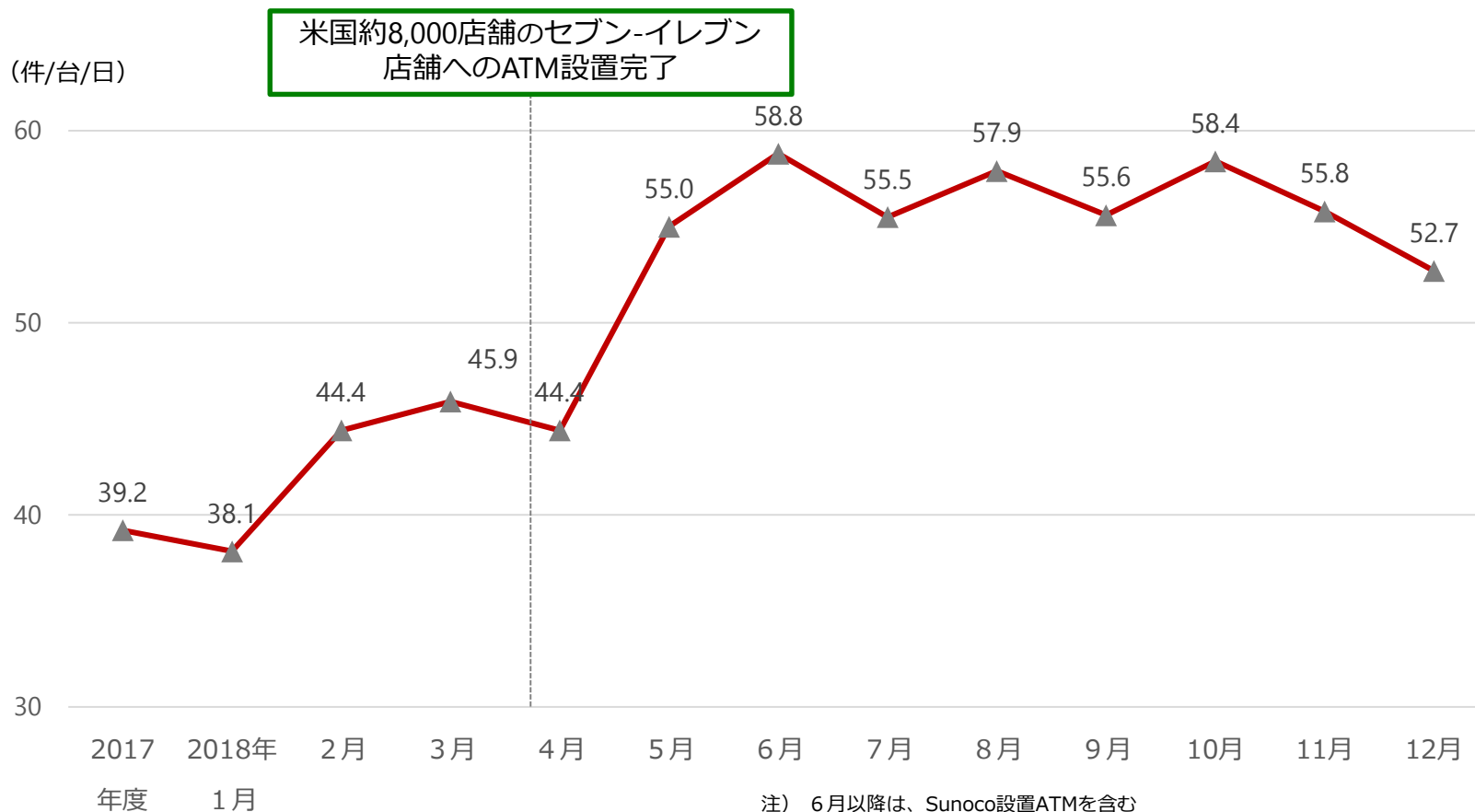
注 2) 2018年12月末時点のATM台数 = 12,795台

SEI内：8,349台

SEI外：自社保有 4,446台

米国セブン-イレブン設置ATM

月別ATM平均利用件数推移



来年度の黒字化を確実にすべく、更なる運用効率の追求

方針

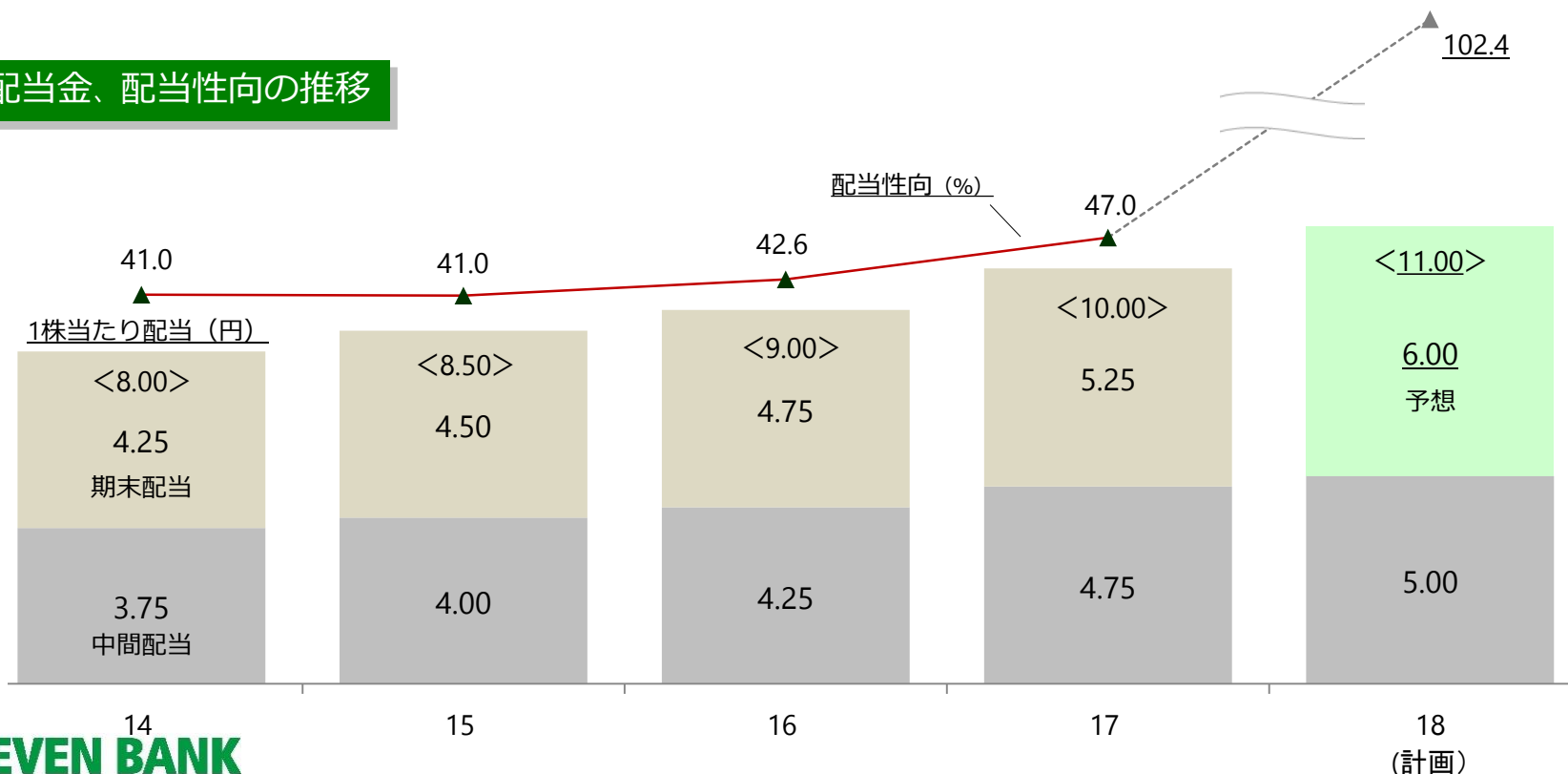
連結配当性向は年間40%を最低目標に、年2回配当を実施

期末配当予想

期末配当金額：1株当たり6.0円（配当総額約71億円）

当初計画より1.0円増配し1株あたり年間配当11.0円

配当金、配当性向の推移



本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATMプラットフォーム事業、決済口座事業及び海外事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。



セブン銀行